

FANTIC RACING

ファンティック・レーシング・ニュース
2025年2月19日

ファンティック・レーシングのボナコルシ、
プレシーズン・レースのイタリア国際選手権での総合3位に入賞。



MXGPのプレシーズンテストの場としても多くのメーカーやライダーが参戦するイタリア国際選手権。今シーズンからFantic XXF450でチームに加わったアンドレア=ボナコルシは、2戦4ヒートレースでの総合結果を3位とし、今シーズンのGP開幕を待つ上々のスタートとなった。モンテバーキで開催されたレースではファンティック・ファクトリーレーシングMXGPライダーの3名がいずれもトップ10でレースを終え、EMXのフランチェスコ=ベレイも表彰台にわずかなところまで迫る結果を残した。

マントヴァでの第1戦で表彰台を勝ち得たボナコルシは、モンテバーキのレースでも3-5位の総合3位に入賞し、2戦4ヒートのイタリア選手権の銅メダルを獲得した。21歳のベルガモ出身のライダーにとっては、XXF450で迎える発シーズンとなるMXGPに向けた幸先良いスタートとなったのである。

モンテバーキには、ホークストーンで勝利を飾ったグレン=コルデンホフとチームメイトのブライアン=ボガースも加わり、ファンティック・チームの3人のライダーが顔をそろえてのレースとなった。イタリアらしいハードパックのコースはレイアウトを刷新、第1コーナーは180度ターンとなるチャレンジングなスタートとなった。ファンティック・ファクトリーレーシングMXGPのオランダ人デュオはレース序盤を中団に飲まれる形でスタート、それでもコルデンホフはペースを上げてボナコルシのすぐ後ろ、6番手でレースをまとめた。ボガースはレース全体を通じてトップ10でレースを戦ったが、腕上りがひどく、最終的には11位に甘んじた。

第2ヒート、「ボナ」「ザ・ホフ」の二人はすぐにトップ10に食い込み、さらにチャージを強めたボナコルシはそのスピードを見せつけ、見事に3位でレースを終えることとなった。コルデンホフは手堅く5位に、ボガースも9位に食い込み、3人のライダーすべてが総合トップ10でレースをまとめる一日となった。

ボナコルシのプレシーズンはこれで終了し、アルゼンチンで3/1-2に開幕するMXGPに焦点を合わせて行く。ボガースとコルデンホフは今週末のオランダ選手権の開幕戦に出場してから、アルゼンチンに向かう予定だ。

アンドレア=ボナコルシ：

国際選手権でメダルを獲得できたなんて、最高のシーズン開幕となったよ。2レース共に手堅くまとめられたから、今シーズンの世界選手権に向けたいいテストと展望になったと思うんだ。チームとマシンには文句ないし、素晴らしパッケージで気分も上々さ。すでにいい仕事ができているとっていいだろうし、2週間後に迫ったアルゼンチンGPでの開幕が待ちきれないよ。



グレン=コルデンホフ：

朝起きた時はいいイメージだったんだけど、1 ヒート目のスタートで失敗しちゃったね。コースが抜きづらいレイアウトでラインがなかったから、これが痛かった。おまけに路面の80%が岩なんだ。もちろんこんなコンディションでももっとうまく走っていけるとは思うんだけど、まあ得意な路面ではないことを考えれば6-5位は悪くないと思うね。ヒート2はスタートもよかったし、トップ10に割り込むまで時間もかからなかったからね。もう1レース戦ってからアルゼンチンに向かう予定なんだ。



ブライアン=ボガス：

レースごとにどんどん調子がよくなっているのを実感しているし、これこそが最も重要なことじゃないかな。モンテバーキを走るのは初めてで、今、腕上がりに厳しいコースだったのを思い知ったところだ。とはいえみんなポジティブにとらえている。レースに戻れていることが素晴らしいし、それを楽しむ余裕もあるからね。一步一步、目指すところに近づいているよ。

ファンティック・ファクトリーレーシング EMX

16歳にして新たにファンティック・ファミリーに加わったフランチェスコ=ベレイは、もう一步でシーズンオープナーのイタリア選手権の表彰台に立てるところだった。モンテバーキではレース序盤から印象的なスピードを見せ、予選では3位に立ったベレイ。しかしヒート1ではスタートゲートで数台のライダーと絡んでしまい、

最後尾からの追走を余儀なくされた。それでもレースでは7位に食い込み、レース中の最速ラップを記録した。ファンティックXX125との相性の良さを示すいいレースといえるだろう。

ヒート2では、対照的にいいスタートを切りながらも1周目で転倒。レースは14位と残念な結果に終わってしまった。可能性を見せながら結果には結びつかなかったものの、ファンティック・ファクトリーレーシングEMXとしては約1か月後の3月15日にスペインはコザールで開幕するEMX125欧州選手権に向けて期待を持たせるレースだったといっているだろう。

昨シーズンのジュニアクラス・ランキング2位だったシモーネ＝マンチーニもXXF250でこのレースに参戦の予定だったが、予選中から背中が痛むのがひどく、レースを断念することになった。チームとしても、ここで無理をさせずにまずは身体を作りなおして、本来の目的であるEMX250でのタイトルに向けて準備を進めよう、という結論に至ったのだ。

フランチェスコ＝ベレイ：

レース1ではゲートに引っ掛かって最後尾から追う展開になってしまった。途中でファステスト・ラップを記録できたけど、スタートがすべてだったんだ。レース2ではスタートこそよかったけど上り坂セクションでクラッシュしてしまった。バイクに戻るまで時間がかかりすぎて、これで事実上レースは終わってしまったんだよ。もっといい結果が残せるはずだったのでがっかりしてはいるけれど、ファンティックに加わって初めてのレースとしてはポジティブなシーンも多く、これからが楽しみだ。仕事を続けていくのみだね。



ダニエル=マルチーズ、ファンティック・ファクトリーレーシング EMX・チームマネージャー：

シモーネ=マンチーニに関しては、この週末を通じて背中が痛むがひどくて、レースに出ないことを決定しました。このためレースクラスは 125 cc だけを走らせることになりましたが、フランチェスコ=ベレイがいいスピードを見せて朝の予選で 3 位に食い込み、先行きを楽しみにしてくれました。レース 1 では不運なことにゲートに引っ掛かってスタートが切れませんでした。それでもレース中の最速ラップタイムを記録しながらの 7 位ですから上出来です。レース 2 は彼自身のミスで結果が出せませんでした。とはいえこのレースの結果は前向きにとらえています。フランチェスコはスピードもあり、またそのスピードをレース中を通じて維持できることを証明しました。チームとしては細かな点をさらにファイナ・チューニングし、さらに自信をもって欧州選手権の開幕に向かいます。



FANTIC FACTORY RACING MXGP



FANTIC FACTORY RACING EMX

